

Kiho

広報きほう

Public Relations/ Kiho 2014 vol.98

3月号

100歳が思い描く「夢」

(関連記事 4〜5頁)





初登庁で職員から花束を受け取り笑顔を見せる西田町長

早 春の候、町民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、多くの町民の皆様からの心温まるご支援とご厚情を賜り、引き続き三期目となる町政の重責を担わせていただくことになりました。

皆様から寄せられました期待と信頼にお応えすべく、新たな決意のもと、次代を見据え、紀宝町の将来像である「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現に向けて、引き続き、誠心誠意全力を尽くしてまいります所存でございます。

これまで、合併による新しい紀宝町が誕生してから取り組んできました2期8年間は、新町の基盤づくりと骨格づくりであり、様々な種を撒き、水をやり、幹を太くしてまいりました。特に、徹底した行財政改革、教育・子育て環境の充実、地域資源を生かした産業振興の推進、住民福祉の向上と特別養護老人ホームの建設、紀宝バイパスの開通と河口大橋の事業化、災害復興・防災対策の推進などの実現に向けて努めてまいりました。この8年間で公約の多くを果たすことができましたことは、町民の皆様のご理解とご

協力の賜物であり、あらためて感謝を申し上げます。これからの4年間におけるまちづくりは、手綱をゆるめることなく行財政改革を推進し、高校生の医療費助成など教育・子育て環境の充実を図るとともに、高速道路の南進を活かした産業振興と雇用拡大の推進、住民との連携によるさらなる福祉サービスの向上、災害復興・復興、防災・減災、河口大橋の早期完成などインフラ整備の促進、若い世代が地域で活躍できる環境整備の推進など、「人の命が一番」「子どもは町の宝物」「高齢者は町の誇り」を基本にしながら、愛するふるさと紀宝町のためにさらに努力させていただき、町民の皆様が、心豊かに安心して暮らせる町と実感でき、誇りと愛着を持てるまちづくりに邁進させていただきます。

なにとぞ、皆様のさらなるご理解とご協力、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。

西田第二期町政始動

就任のごあいさつ

心豊かに安心して暮らせる
誇りと愛着の持てるまちづくりに
邁進いたします



紀宝町長
にしだ けん
西田 健

紀宝町選挙管理委員会からのお知らせ

任期満了（平成26年2月4日）に伴う平成26年1月26日（日）執行の紀宝町長選挙は、平成26年1月21日の告示日において、現職の西田健氏のほかに立候補の届出がなく、西田氏の無投票当選を決定しました。任期は、平成26年2月5日から平成30年2月4日までの4年間です。

▶詳しくは、紀宝町選挙管理委員会（総務課内 ☎ 33-0333）までお問い合わせください。



向井選挙管理委員長から当選証書を受け取る西田町長



母

一億の母に一億の子
あるも わが母にま
さる母あらじ

峯尾さんいわく、母の点
は乳首であり、これが人
間の命であり、源である。
人はやはり、ものの根本
に戻らないといけない。

01. 毎日欠かさず机に向かい、筆を
ふるう峯尾さん。いざ書を始めると、
筆先一点に集中し、その表情は真剣
そのもの。02. 書の練習のために、模
写をされることも多いのだとか。



01



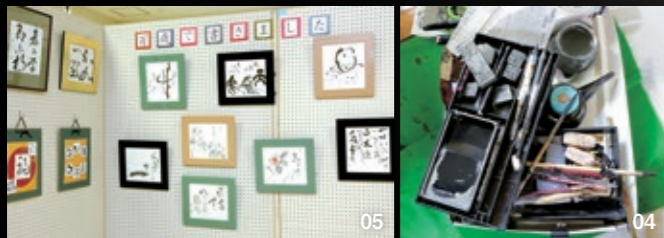
老而学即ふ朽

峯尾さんがモットーとされている言葉のひとつで、佐藤一斎の著した「言志四録」の一節を引用したもの。意味は「老年になってからも尚、学ぶことをやめなければ、死んだ後も自分の業績は残り、次の人々にも引き継がれていく」というもの。



03

03. 自慢の「書」を、笑顔で見せてくれる峯尾さん。04. すずりの横には、筆のほか、鉛筆や筆ペンなどいろいろそろっています。05. 役場で行われた峯尾さんの書道作品展の様子。3月1日(土)からは、ウミガメ公園でも行われます。



05

04



100歳の書き手 峯尾平さんの想い

自分の心を映すのが『書』

今年で100歳を迎える峯尾平さんは、毎日欠かさず、書道に打ち込まれています。

書道歴はなんと80年。そんな峯尾さんの人生をたどりながら、峯尾さんの書に対する想いや、元気の秘訣などを伺ってきました。

峯尾さんは、大正3年3月6日、6人兄弟の四男として、新宮市に生まれました。旧制中学から身体を鍛え始め、剣道は3段、居合は2段の腕前だとか。昭和13年の24歳の時、日支事変に召集がかり、戦争も経験されました。身体を壊して1年後に帰郷されたからは、昭和15年から、和歌山県の小中学校で教員をされました。昭和21年の南海地震の際、新宮の家が焼失

してしまったことを機に、成川に移り住まれたそうです。退職後は、熊野本宮大社や浦島稲荷神社で神主(禰宜)として77歳まで奉職。その後は、ほぼ毎日、机に向かって、書道に打ち込まれています。

峯尾さんがモットーとされている言葉があります。それは、「老而学即ふ朽」。佐藤一斎の著した「言志四録」の一節を引用したもので、「老いても、学ばなくてはいけない」という気持ちを持って毎日取り組まれているそうです。書について、峯尾さんは言います。「自分の心を映すのが『書』であって、いくら技術があり、まとまった字を書いて、全然伝わってこない。他人はどう思うか

わからないが、私はその気持ちを込めて書いています。普段はお話し好きな峯尾さんも、書を書き始めるとその表情は一転、真剣な目で一心不乱に、ひと筆ひと筆に気持ちを込めていきました。

峯尾さんに「健康の秘訣は？」と尋ねると、それは「欲を持たないこと」だそうです。「生きようと思えば死ぬ。死なうと思えば生きる。なので、無心で生きないといかん」と話されています。また、趣味を持ち、なんにでも挑戦することが大切だとか。峯尾さんは、90歳を超えてから、独学で絵にも挑戦されています。



好きなことに一生懸命取り組み、一生懸命取り組まれている峯尾さんの目は、とても生き生きと輝いていました。「人生、いろんな苦悩もあるけれど、一生懸命、楽しまなくちゃね」と、言われているような気がしました。

そんな峯尾さんの書を、3月1日(土)から3月15日(土)までの2週間、ウミガメ公園2階の展示場で、鑑賞することができます。書かれた年代ごとの書の変化や、その時代の峯尾さんの想いを感じ取っていただけたらと思います。ぜひご来場ください。

災害に強い森林づくり

県民全体で森林を支える社会づくり

Information 役場税務住民課

「みえ森と緑の県民税・復興増税」による町県民税均等割額変更のお知らせ



三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税」をスタートすることになりました。それに伴い、平成26年度分から町・県民税均等割額がそれぞれ増額になります。

納めていただいた税金は、森林づくりのほか、子どもたちに森林の大切さを学んでもらう森林環境教育や、県産材を活用した公共建物等の木造・木質化などに役立てていきます。

また、各地方公共団体が実施する防災対策の財源を確保するための増額も同時にスタートします。

◆みえ森と緑の県民税

納めていただく金額は、現行の県民税均等割に上乗せする形で、1年間に、個人では1,000円、法人では県民税均等割額の10%相当額(2,000円～80,000円)となります。

暮らしの安全・安心を守り、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくため、みなさまのご理解・ご協力をお願いします。



◆復興増税

(各地方公共団体が実施する防災対策の財源)

東日本大震災からの復興を図る基本理念に基づき、各地方公共団体が実施する防災施策の財源を確保するため、平成26年度から平成35年度までの10年間、県民税と町民税の均等割の標準の税額がそれぞれ500円、合わせて1,000円引き上げられます。個人の町・県民税均等割が非課税の方は新しく課税されることはありません。

◆個人の町県民税均等割額(年額)税額表

区分	町民税均等割額	県民税均等割額	合計
従来の税額	3,000円	1,000円	4,000円
みえ森と緑の県民税 (平成26年度～)	0円	1,000円	1,000円
復興増税 (平成26年度～35年度)	500円	500円	1,000円
合計	3,500円	2,500円	6,000円

※個人の県民税と町民税は、町があわせて課税して納めていただく制度になっておりますので、増額分は平成26年度町県民税納税通知書に反映し送付いたします。法人については、従来の申告書で、三重県に「みえ森と緑の県民税」を上乗せした税額により申告納付していただきます。

▶詳しくは、「みえ森と緑の県民税」の制度・税の仕組みに関することは、三重県総務部税務・債権管理課(☎059-224-2127)まで、「みえ森と緑の県民税」の使いみちに関することは、三重県農林水産部みどり共生推進課(☎059-224-2513)まで、「町県民税」に関することは、役場税務住民課(☎33-0337)までお問い合わせください。

Information 役場福祉課

国民健康保険に加入の70～74歳のみなさんへ 医療機関での窓口負担が見直されます



平成26年5月の診療分から、70歳以上74歳以下の方の医療機関での窓口負担割合の特例措置が下記のとおり見直しされることとなりました。ただし、昭和19年4月1日以前に生まれた人は、今までどおり1割《現役並所得者(※①)は3割》の負担割合で、平成26年4月2日以降70歳の誕生日を迎える方は、窓口負担が2割になります。

◆平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方

(誕生日が昭和19年4月2日以降の方)

- 70歳の誕生月の翌月(ただし、各月1日が誕生日の方はその月)の診療から、医療機関での窓口負担が**2割**になります。(例えば、平成26年4月2日～5月1日に70歳の誕生日を迎える方は、5月の診療から2割負担になります。)

注) 現役並所得者(※①)は、これまでどおり3割負担です。

◆平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方

(誕生日が昭和19年4月1日までの方)

- 平成26年4月以降も医療機関での窓口負担は**1割**のまま変わりません。(平成26年3月2日～4月1日に70歳の誕生日を迎える方は、これまでの3割負担から1割負担になります。)

注) 現役並所得者(※①)は、これまでどおり3割負担です。

【※① 現役並所得者】 同一世帯に、住民税の課税所得が145万円以上の70歳以上74歳以下の国民健康保険被保険者がいる方。ただし、その該当者の収入の合計が、2人以上の場合は520万円未満、1人の場合は383万円未満である場合、申請により誕生日が昭和19年4月2日以降の方は2割負担、昭和19年4月1日までの方は1割負担となります。

▶詳しくは、役場福祉課(☎33-0339)までお問い合わせください。

Information 役場総務課防災対策係

防災拠点施設(津波避難ビル)を見学できます

町が昨年12月、役場本庁舎横に整備した、防災拠点施設(津波避難ビル)の施設内を見学することができます。

この施設は、近い将来発生が危惧されている、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えて整備されたもので、鉄筋コンクリート造りの6階建てです。1階から3階は津波を受け流すため、主に柱だけの構造となっており、4階には、総務課防災対策係の執務室のほか、防災行政無線機器室、サーバー室、非常時の食料や防災用品の備蓄倉庫があります。5階には、約800人が収容できる一時避難スペース、6階(屋上)には自家発電機器などが設置されています。

見学を希望される方は、事前に役場総務課防災対策係までご連絡ください。

▶詳しくは、役場総務課防災対策係(☎33-0335)までお問い合わせください。



防災拠点施設(津波避難ビル)

宅地分譲の申込受付期間を延長します



現在、若者定住促進のために分譲中の宅地（井田保育所跡地）の申込受付期間を、次のとおり延長します。なお、分譲内容につきまして詳しくは、今月号に折り込まれているチラシをご覧ください。

【申込受付期間】（変更前）平成26年2月28日（金）
→（変更後）平成26年9月30日（火）

※締切は9月30日ですが、毎月末時点で申し込まれている方の審査および抽選をし、分譲を行います。分譲済となりました区画は、その後のお申し込みはできませんので、お早めにお申し込みください。

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

特別児童扶養手当および特別障害者手当等の手当額変更について



平成12年度以降、物価下落時に据置き措置が採られた経緯から生じている特例水準（1.7%）については、平成25年度から平成27年度までの3年間で解消することが盛り込まれた法律【国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律（平成24年法律第99号）】が平成24年11月に成立したことから、平成26年4月以降の手当額については、0.3%引き下がることとなります。

	～平成26年3月（月額）	→	平成26年4月～（月額）
特別児童扶養手当（1級）	50,050円	→	49,900円
特別児童扶養手当（2級）	33,330円	→	33,230円
特別障害者手当	26,080円	→	26,000円
障害児福祉手当	14,180円	→	14,140円
福祉手当（経過措置分）	14,180円	→	14,140円

▶詳しくは、役場福祉課（☎33-0339）までお問い合わせください。

出会い交流イベント

「恋の花咲け！桜色のバーベキューパーティー」を開催

町では、熊野市、御浜町と連携して行う「南部地域活性化基金事業」として、独身の男女を対象に出会い交流イベント「恋の花咲け！桜色のバーベキューパーティー」を開催します。

うららかな春の陽気が近づくなか、素敵な出会いがあるかもしれません。ぜひ、ご参加ください。

【日時】 3月30日（日）午後4時～午後9時

【会場】 大里親水公園（雨天時は場所を変更）

【集合】 午後4時 紀宝町役場（駐車場有）

※会場まではバスで送迎します。

【募集人数】 30名（独身男女各15名）程度

※町外の方も歓迎。申込者多数の場合は抽選。

【対象年齢】 20歳～45歳くらいまで（独身限定）

【内容】 バーベキュー・レクリエーションなど

【参加費】 男性2,000円 女性1,000円

【申込方法】 住所、氏名、年齢、性別、電話番号、イベントを知った媒体（新聞等）、をご記入のうえ、メールかFAX、または電話にて、役場企画調整課までお申し込みください。

【申込期限】 3月14日（金）午後5時まで

※参加の可否は19日（水）に郵送等でいきます。

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334、FAX 32-1102、メール kikaku@town.kiho.lg.jp）までお問い合わせください。

広報きほうが三重県広報コンクールの3部門で特選に輝く！



平成25年1月から12月までに発行された広報紙を審査する「平成25年三重県広報コンクール」の審査がこのほど行われ、「広報きほう12月号」が広報紙部門（町部）で特選に、また「広報きほう2月号」の表紙写真と「広報きほう9月号」の2～3ページが、それぞれ写真部門（1枚写真の部）と（組み写真の部）で特選に選ばれました。

今後、同広報紙は、三重県代表として全国広報コンクールに進みます。これからも、みなさんに親しんでいただける広報紙を目指して、頑張ります。

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

・・・ 審査員の講評 ・・・・・・・・・・・・・・・・



特選 広報きほう 12月号
広報紙部門（町部）

表紙の作り方からして、一般的な広報紙とは一線を画しています。町民へのアンケートやQ&Aなど、さまざまな手法を使って「投げかけ→現状→事例→対策→まとめ」とテーマが理解しやすい展開となっており、悩みについてわかりやすく解消できることを考え特集が組まれています。



特選 広報きほう 9月号
写真部門（組み写真の部）

1番メインとなる写真は、広角レンズでローアングルの迫力ある写真となっており、また、シャッタースピードを遅くしてわざと動きをブラしたカットや表情を大きめにとらえたカットなど、パワースポットならではの祭の様子がよく伝わってくる組み写真だと思えます。



特選 広報きほう 2月号
写真部門（1枚写真の部）

子どもの表情とタイトルが何とも愛らしく、「おいしい」がすごく伝わってくるとても良い写真だと思います。遠近感を強調した広角レンズの使い方も上手で、カメラマンと子どもとのコミュニケーションがすばらしく、タイトルの入れ方やキャッチフレーズも効果的です。

食生活改善推進協議会の会員養成講座を開催

町は、食生活改善推進協議会の会員を養成する講座（栄養教室）を次のとおり開催します。

同協議会は、子どもからお年寄りまで幅広く、食事を通して健康づくりを広めることを目的に組織されています。

この講座には、ボランティア活動に意欲のある18歳以上の住民の方なら、男女問わず参加していただけます。この機会にぜひご参加ください。

【日程】 4月16日（水）、5月21日（水）、6月18日（水）、7月16日（水）、9月17日（水）、

10月22日（水）、11月19日（水）の計7回。うち5回以上受講することが条件。

【時間】 午前9時30分から午後2時30分まで
【内容】 栄養、食品衛生、糖尿病・高血圧予防の食事についての講話や調理実習

【参加費】 毎回300円（食材費）

【場所】 保健センター

【申込期限】 4月4日（金）まで

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。



シリーズ 浄化槽 ~きれいな川を 未来に残そう~ その⑨

今月のテーマ

清掃時期に合わせて 寄付のご検討を!!

「紀宝町営浄化槽整備推進事業」では、すでに設置済みの合併処理浄化槽について、町による維持管理を希望される場合、浄化槽を寄付するという形で、町が維持管理を行っていく『寄付採納制度』を行っています。寄付採納時には最終清掃を行っていただく必要がありますので、浄化槽の寄付をお考えの方は、清掃時期に合わせてご検討ください。



Purifying

Purified

シリーズ ストップ地球温暖化 その⑧

家庭でできる温暖化対策

今月のテーマ 温水洗浄便座

心地よい温度に設定しましょう



便座暖房の温度は低めに

便座の設定温度を一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）で、冷房期間は便座暖房をOFFにします。

年間削減効果 年間節約金額

電気	26.40kWh	約 580 円
CO ₂	9.2kg	

【出典：財団法人省エネルギーセンター／家庭の省エネ大事典】

Eco

温

水洗浄便座は、使用していないときでもエネルギーを消費してしまっていることがあります。便座暖房、洗浄温水は季節に合わせて設定温度を調節しましょう。設定温度を下げるだけで節電することができます。また、せっかくな暖めた熱を逃がさないために、使わないときはフタを閉めましょう。

さらに、暑い季節には暖房・温水はオフにすれば、より節電することができます。

ワンポイントアドバイス

使い分けをしましょう

便座暖房など、一年を通してつけっぱなしにしているせんか。寒い季節や必要に応じて使うようにしましょう。長い間、使用しないときは、コンセントを抜くようにしましょう。

詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0333）までお問い合わせください。

浄化槽設置後の 維持管理が大切です

浄化槽は、設置をした後の保守点検、清掃、法定検査といった維持管理が大切です。町では、現在、『紀宝町営浄化槽整備推進事業』に取り組みしており、浄化槽の設置促進はもろろのこと、維持管理の徹底を図り、町の水環境を守っていくことも目的のひとつとして事業を推進しています。

町では、同事業が始まった平成20年4月までに、すでに設置済みの合併処理浄化槽について、町に維持管理を希望された場合、その浄化槽を町に寄付するという形で浄化槽の所有権を町に移管いただく、『寄付採納制度』も行っています。寄付の手続きをとっていただくこと、同事業で設置した浄化槽と同じく、使用料（表①参照）を負担いただきながら、清掃や保守点検、法定検査などの維持管理を町が責任を持って行うということになります。

寄付直前の清掃は 申請者の負担です

浄化槽の寄付を希望される方は、まず、役場環境衛生課

生課、または、同事業の契約先である紀宝町下水道サービス(株)のどちらかに電話等で、寄付の申し出を行ってください。

その後、担当職員等が、訪問し、直近の浄化槽の保守点検の状況や法定検査の受検結果を書類で確認させていただきまます。また、浄化槽やプローアが正常に機能しているかも訪問時に確認させていただきます。

確認後、最終清掃（全量くみ取り）を行っていただき、寄付採納という形になりますので、寄付を希望される場合、年1回行っていただいで

いる清掃の時期に合わせた寄付申請が効果的です。

表① 月々の使用料

浄化槽の種類	通常	65歳以上のみの世帯
5人槽	3,700円	2,000円
7人槽	4,700円	2,500円
10人槽	6,100円	3,100円

※11人槽以上の使用料については、役場環境衛生課までお問い合わせください。

詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0333）までお問い合わせください。

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

移動支所をご利用ください

表① 3月の移動支所開設日程

ピンク色は、移動図書館も開設

開設日	会場	開設時間
月曜日	3日 桐原生活改善センター	9:00~10:15
	10日 平尾井高齢者生産活動センター	10:30~11:45
	17日 大里多目的集会施設	13:30~14:45
	24日 上野農事集会所	15:00~16:15
火曜日	4日 浅里生活改善センター	9:00~10:15
	11日 北桧杖多目的集会施設	10:30~11:45
	18日 中村多目的集会施設	13:30~14:45
水曜日	5日 阪松原生活改善センター	9:00~10:15
	12日 永田青年クラブ	10:30~11:45
	19日 井田公民館	13:30~14:45
	26日 地下集会所	15:00~16:15
木曜日	6日 上地多目的集会施設	9:00~10:15
	13日 下地生活改善センター	10:30~11:45
	20日 茶屋地構造改善センター	13:30~14:45
金曜日	27日 下り場集落センター	15:00~16:15
	7日 高岡老人憩の家	9:00~10:15
14日 鮎田構造改善センター	10:30~11:45	

町内17か所で 開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。（表①移動支所開設日程をご覧ください）

お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務（交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします）や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

詳しくは、役場税務住民課（☎33-0337）までお問い合わせください。

図書館だより

今月のおすすめ図書 テーマは“長野ヒデ子さんの本”



とうさんかあさん
 長野ヒデ子 / 作
 石風社
 長野ヒデ子さんのデビュー作。父さんと母さんの子ども時代の話を通して描かれる懐かしい世界。ほっこり温かい気持ちになれる絵本。



ひらがなにっき
 若一の絵本制作実行委員会 / 文
 長野ヒデ子 / 絵 解放出版社
 識字学級に通う吉田一子さんの日記をもとにした絵日記風の絵本で、長野さんの傑作！あとがきの吉田さん自筆の文章に心が震えます。



狐
 新美南吉 / 作
 長野ヒデ子 / 絵 偕成社
 おばあさんの心無い一言で楽しいはずの祭りの夜が一変！不安でいっぱいの子どもの心を母親の言葉が救う、新美南吉の傑作です！



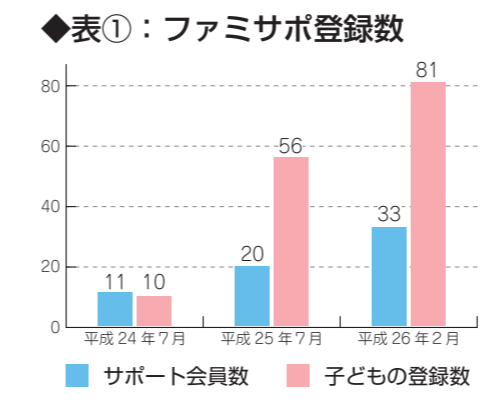
ふしぎとうれしい
 長野ヒデ子 / 著
 石風社
 長野さんの初エッセイ集。描かれる絵と同じように、元気いっぱい！びかびかの言葉で紡がれるいきいきとした日常に心洗われます。

今月のおはなし会
3月22日(土)
 0歳児 10:00～10:30、1歳以上 11:00～11:30
 3歳以上 13:30～14:00、小学生 14:00～14:30
 ◆鶴殿図書館 (☎32-4646)
 ◆利用時間：9:30～18:00
 ◆休館日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

◆**絵本作家 長野ヒデ子さんの絵本ライブと講演会を開催**
 鶴殿図書館では、「せとうちたいこさんシリーズ」などでおなじみの絵本作家、長野ヒデ子さんをお招きし、次のとおり絵本ライブと講演会を開催します。
 長野さんの作品は、どれもとてもあたたかく、元気いっぱい、のびのびと描かれていて子どもたちに大人気です。ぜひご来場ください。
【日時】 3月16日(日)、絵本ライブ 午前10時30分～11時30分(先着50人)、講演会 午後1時30分～3時(先着70人)
【場所】 鶴殿図書館2階研修室

Police 紀宝警察署 からのお知らせ
誘惑に負けないで、新学期をスタートしよう！
 春休みは、新生活へ向けてうきうきしていることでしょう。
 新学期は、進学、進級で交友関係や活動範囲が広がります。
 これまで経験したことのない酒やタバコ、薬物などに興味を持ち、犯罪に手を染めたり、出会い系やコミュニティサイトを利用するなどして、性的被害に遭うこともあります。
 興味本位で犯罪に手を出さず、誘惑に負けない強い心で、新生活を楽しみましょう。
 紀宝警察署 (☎33-0110)

Resources ごみは資源 のコーナー
ロープの束は、「資源にならないごみ」の日に出してください!!
 紀南清掃センター(固形燃料化施設)に搬入された「燃料ごみ」の中に、ロープの束が混入しており、破砕機が停止してしまう事例が続いています。ロープの束は、絶対に「燃料ごみ」の中に入れて、資源にならないごみの日に出してください。
お願い♪
 細いロープや短いロープでも、「資源にならないごみの日」に、ごみ袋に入れて出すようにしてくださいね。
 役場環境衛生課 (☎33-0338)



◆**サポート会員の意気込み**
 預かりの予定が入ったサポート会員は、何が預かる子どもに喜んでもらえるのかを考えています。折り紙で羽子板作りなどの季節の遊びの準備をしたり、より小さな子どもには、ボーリング遊びなどわかりやすい物を用意します。昼食が必要なときは、子どもの喜ぶ顔を思い浮かべメニューを考え、見ばえや栄養バランスがしっかりとしたお弁当を作っています。

共働きの家庭はもちろん、おうちで育児をがんばっているお父さん・お母さんも気軽にお子さんを預けられます。いざというときのお守りとして、ぜひファミリーサポートセンターにご登録いただき、利用してください。
 ▼詳しくは、紀宝町ファミリーサポートセンター(☎32-4688)までお問い合わせください。

平成24年7月、開設したファミリーサポートセンター(通称：ファミサポ)は、広報さほうや新聞、子どもを預ける依頼会員の口コミなどで、会員数が年々増えていきます。(表①参照)
 そこで今回は、ファミサポの主なサポート内容やサポート会員の意気込みなど、ファミサポについてお伝えします。

◆**主なサポート内容**
 現在、月に40件ほどの活動があり、子どもの授業参観に行くための下の子ども預かりや、里帰り出産で入院中の利用、母親の仕事による半日の預かり、急な兄弟の入院などの理由で、たくさんの方に利用いただいています。

◆**ファミサポでは**
 初めての預かり活動の前には、事務所まで、依頼する保護者と子ども、サポート会員、調整役のセンター職員と子どもの情報交換を行っています。活動前に子どものお薬や睡眠・排せつ・食事など普段の様子を共有し、お互いが安心して安全に心がけ活動につなげていきます。

ファミリーサポートセンター

今月のテーマ



いっしょにいっしょ子育て♪
 くみんなでサポート♪



Quiz
広報クイズ
【問題】
 ①自分の心を映すのが「〇」
 ②防災拠点施設を〇〇できます
 ③宅地分譲の申込受付期間を〇〇します
 ④3月は〇〇対策強化月間です
 ⑤今月の「紀の宝みなと市」は3月〇〇日
◆2月号当選者
 (応募総数25通・正解者24人 賞品は「マイヤーレモンお菓子セット」)
 ・成本 美三代さん(平尾井)
 ・水野 清子さん(井田)
 ・池田 孝代さん(成川)
 ・大川 光代さん(鶴殿)
 ・今西 千春さん(鶴殿)
 ▼詳しくは、役場企画調整課 広報係(☎33-0334)まで。

◆応募資格
 紀宝町内に在住の方
◆応募方法
 ハガキかメール(koho@town.kiho.lg.jp)で、クイズの答え5問分(〇の中に入る数字や文字)と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報さほう」についてのひと言を書いて、役場企画調整課広報係(〒519-5701 紀宝町鶴殿324)まで応募してください。正解者の中から、抽選で5名の方に、上写真の「町の特産品」をお贈りします。
◆締め切り
 3月14日(金)必着(当選者の発表は、来月号のこのコーナーで)
◆2月号の正解
 ①防災 ②宅地 ③燃料 ④血糖値 ⑤15
 3月号の当選者へは **セミノール**
 抽選で左記の物が当たります！
 koho@town.kiho.lg.jp

こんにちは保健師です！ その97
今日のテーマ



今日は岡本こずえ保健師

3月は自殺対策強化月間です

悩みを抱えた人が、支援を求めやすい環境を作るための施策が展開できるよう、国では、自殺者数の多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。

町では、自殺対策強化月間における取り組みの一環として、『こころの相談』窓口を保健センター内に設置したり、普及啓発活動として街頭キャンペーンや広報活動を実施しています。

自殺対策強化月間をきっかけに、それぞれの立場で「自殺対策の主役」としてできることを考えてみましょう。

◆いつもと違う様子が続いていませんか？

憂うつな気分が2週間以上続く。何をやっても楽しくない。あなた自身や身近な人でそんな症状はないですか。それは、もしかしたら心の病気や自殺のサインかもしれません。

ん。そのまま放置せず、できるだけ早く専門家や専門機関に相談しましょう。

◆自分自身でできること…まずは誰かに話す

悩み、ストレス、症状などがつらい時は一人で抱え込まず、誰かに相談しましょう。人に話すと、閉じ込めていた思いを打ち明けることができ、ほっとしたり、自分一人では気づかなかった問題点を見つかりやすくなります。相談相手は、かかりつけ医や家族や友人、同僚など自分にとって身近な人でよいです。まずは、信頼できる人に打ち明けてみましょう。

◆身近な人にできること…「どうしたの？」と声をかける

心の病気は本人に自覚がないことも多いため、周囲の人の気づき大切です。まずは

ひと声かけてみましょう。そして、話に耳を傾け、専門家や専門機関の相談・受診をすすめます。話を聞くとときは、問題を一方的に指摘せず、本人の言いたいこと、悩みを真摯な態度で耳を傾けて、感情を受けとめることが大切です。『傾聴』と『受容』と、共感する姿勢をもつことがポイントです。

◆専門医への受診のすすめ方

かかりつけ医から専門医への受診をすすめてもらうと、抵抗が少ないものです。それでも、本人がどうしても受診を拒む時には、まずは家族や周囲の人だけでも専門医や専門機関へ相談してみてください。対処法などの指導を受けることができます。どこに相談したらいいかわからない人は、保健センター（☎32-3700）までご相談ください。

Health



Cooking

楽しく、おいしい簡単料理♪ その78



管理栄養士 寺澤博子

今日のお料理

甘〜い新玉を使って♪

新玉ねぎのそばろあんかけ

新玉ねぎはみずみずしくて辛味が少ないので、生で食べやすく、甘いのが特徴です。また、あまり日持ちがしないので、冷蔵庫で保存し、2〜3日で食べきるようにしましょう。

玉ねぎに含まれる硫化アリル（アリシン）は、「血液サラサラ」効果がよく知られています。その他にも食欲増進や殺菌効果などの働きがありますが、水溶性のため、水にさらしすぎると流れ出てしまうので、注意しましょう。



One Point Advice

今は新玉がおいしい季節（^^）

エネルギー（1人あたり）：約161kcal
塩分：約0.6g

【材料（2人分）】

- 新玉ねぎ 1〜2個
- 鶏ひき肉 130g
- オリーブ油 小さじ1
- しょうが 小1片
- にら 1本
- みそ、酒 各大さじ1
- 砂糖 小さじ1
- 水 50cc
- 水溶性片栗粉 少々

【作り方】

- ①にらは細かく刻む。しょうがはすりおろしておく。
- ②玉ねぎは横に約1cmの厚さに切る。フライパンに油を熱し、焼き色がつくまで焼いていく。
- ③小鍋に油(分量外)を少量引き、しょうが、にら、ひき肉を炒め、Aを加えて味付けしたら、水溶性片栗粉でとろみをつける。
- ④焼いた玉ねぎをお皿に盛り、③をかけて出来上がり☆

Cooking

Calendar

Health March Calendar

3月の健康カレンダー

元気塾（介護予防事業）

日	会場と開催時間
5日	大里多目的集会施設（午前9時30分〜11時）

※要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

小さなボールを使った健康運動教室（介護予防事業）

日	会場と開催時間
6・20日	鶴殿地域交流センター（午前10時〜11時）
13・27日	上地多目的集会施設（午前10時〜11時）

※要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

貯筋運動（イスに座ってできる簡単な運動です）

日	会場と開催時間
7・14・28日	保健センター（午後0時30分〜2時30分）

※要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
25日	すくすく育児相談（午前9時30分〜11時30分）

※要予約：詳しくは、保健センター（☎32-3700）まで。

3月の休日救急当直医

日	病 院 名	内科・外科
2日	谷 地 内 科	☎(23)3088 内 科
9日	味 八 木 胃 腸 科	☎(21)5610 外 科
16日	ま じ ょ う ク リ ニ ッ ク	☎(29)7800 内 科
21日	笹 屋 内 科 外 科	☎(21)2917 外 科
23日	す ず き こ ど も ク リ ニ ッ ク	☎(28)0111 小 児 科
30日	真 砂 小 児 科	☎(29)7313 小 児 科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内 科

※変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。
※診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

Dentistry

竹田歯科衛生士の歯の健康一口メモ その97

今日のテーマ

タバコと歯周病の関係性

歯を大切にしようね



竹田仁香歯科衛生士

タバコの煙には数千種類もの化学物質が含まれていて、そのうち発がん性物質はなんと60種類。ニコチン、シアン化水素、一酸化炭素、トルエン、ヒ素、カドミウム、アセトアルデヒドなど殺虫剤や塗料、ガソリンなどの成分となるものも含まれます。

タバコのタール成分の付着が、歯周病の原因となる歯垢・歯石をつきやすくします。ニコチンは歯肉の血管を収縮させ、出血しにくくし、そのため歯周病の発見が遅らせてしまいます。また、喫煙者は、口臭が臭くなり、ヤニが歯に着色するだけでなく、歯周病にかかりやすく、重症化しやすくなります。さらに、歯周病治療後も健康な歯肉に回復させることは非喫煙者よりも難しくなります。

禁煙することによって、「歯周病のかかりやすさ」は4割も減るそうです。手術後の治療経過も禁煙者は非喫煙者とほとんど差がなくなります。ちなみに肺がんにかかる危険は、喫煙者では非喫煙者の4.5倍ですが、禁煙すると4年で2.0倍、5年で1.6倍、10年で1.4倍と下がっていくという報告があります。

Town topics
2/3



神内小学校6年生 16人が体験

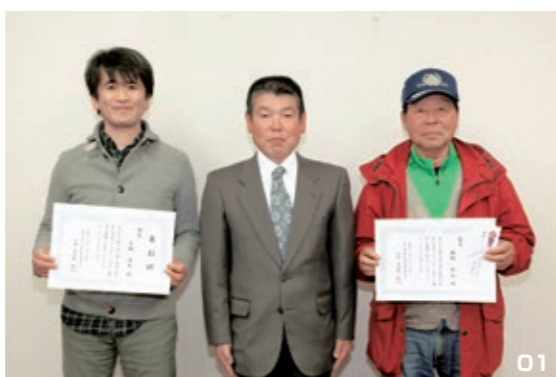
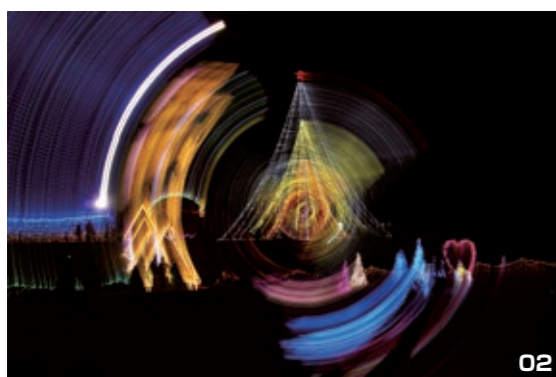
赤ちゃんと触れ合い、命の尊さを学ぶ

紀南地域母子保健医療推進協議会は2月3日、保健センターで思春期教育の一環として「赤ちゃんとふれあい体験」を実施しました。

これは、赤ちゃんと触れ合いで「命を大切にする」を切り口に、「自分を大切に」「他人も大切に」ということを学ぶことを目的に、平成22年度から行われています。

参加したのは神内小学校6年生16人。乳児健診に訪れた母親に「赤ちゃんがお腹にいるとわかったとき、どんな気持ちでしたか?」「子育てで、朝・昼・晩のどの時間が1番大変ですか?」などと子育てについて質問したり、乳児を抱っこさせてもらったりして、子育ての大変さと喜びを共感していました。

01・02. 赤ちゃんを抱っこさせてもらい、その感触や温もりを体験する児童ら。03. 乳児健診の様子を見学する児童ら。



Town topics
1/29

01. 表彰式。左から上地さん、古屋敷会長、奥村さん。02. 金賞の「冬の風物詩」。03. 銀賞の「輝け! 紀宝町」。04. 銅賞の「光の迷路へ」

光の祭典 in 紀宝写真コンテスト

金賞は奥村敏之さん(紀北町)の「冬の風物詩」

光の祭典 in 紀宝実行委員会が開催した「第3回光の祭典 in 紀宝写真コンテスト」の表彰式が1月29日、町役場で開催されました。

このコンテストには、19点の応募があり、それぞれの作品にイルミネーションの幻想的な光の世界が表現されていました。1月16日に行われた審査会では、同実行委員が思い思いの視点で審査し、選考の結果、奥村敏之さんの作品「冬の風物詩」が金賞に輝きました。銀賞には上地浩史さん(紀宝町)の「輝け! 紀宝町」が、銅賞には鈴木文代さんの「光の迷路へ」が受賞されました。

選ばれた作品は、役場町民ホール、ウミガメ公園で展示され、多くの人に鑑賞いただきました。



セリフや振り付けは園児たちのオリジナル

うどの幼稚園児が演劇を披露!!

うどの幼稚園は2月7日、園児たちが約1か月間劇作りに取り組み、練習を重ねてきた演技を披露する「参観日」を開催しました。

今年は、年少のたんぼ組が「金のオノと銀のオノ」、年長のばら組が「ライオンを助けたネズミ」、さくら組が「一寸法師」を上演しました。

この劇は、絵本を参考に、セリフや振り付け、表現方法など全てを、先生と園児たちが相談しながら考え、少しずつ劇を組み立てました。

物語の華やかな衣装で登場した園児たちは、元気よく歌い、のびのびと演じていました。なかでも、目を引いたのが一寸法師の表現の仕方。小さな一寸法師を表現するために、黒子に扮した園児が小さなイラストを持ちながら演じていました。

愛らしい動きや表情で演じる園児たちに、詰め掛けた保護者たちから大きな拍手が送られていました。



01・04. 劇「ライオンを助けたネズミ」。02・03・06. 劇「一寸法師」。05. 劇「金のオノと銀のオノ」

Town topics
2/7



Town topics

1/18

01. 講習会を受講する参加者たち。02. 消防士から、心肺蘇生など、幼児救急法を学ぶ受講生たち。

ファミリーサポート会員講習会

子どもを預かるためのさまざまな知識や技術を学ぶ

町ファミリーサポートセンターは1月18日から4日間、サポート会員講習会を開催しました。

ファミリーサポートセンターとは、子育てを助けてほしい人(依頼会員)の要望に応じて、子育てのお手伝いができる人(サポート会員)を紹介し、地域で子育てをサポートしていく会員組織です。

そのサポート会員を育成するための今回の講習会には、13人が参加。安全な預かり、保育の心、栄養、発育と発達、幼児救急法など、子どもを預かるためのさまざまな知識や技術を学びました。

受講を終え、新たにサポート会員として活動することになった13人を加え、これで、サポート会員は全員で33人となります。



03

01. 竹と和紙を使ってオリジナル凧をつくりました。02. 親子での参加も。03. 井田海岸の空に凧をあげる参加者たち。04. ウミガメの連凧も登場しました。



01

Town topics

1/19



02

「凧づくり教室」と「たこあげ大会」

井田海岸の空にウミガメの連凧が舞う

町青少年育成市民会議主催の「凧づくり教室」が1月19日、まなびの郷で開催されました。子ども24人と保護者ら16人が参加し、骨組みの竹と和紙を、ハサミやマジックを使って各々オリジナルの凧を作りました。

また、井田公民館主催の「たこあげ大会」が1月25日、ウミガメ公園前の井田海岸で開かれ、友人同士のグループや親子連れなど約150人が集まり、持ち寄ったさまざまな凧が大空を舞いました。

この日は、穏やかな陽気で凧あげに最適な風が吹き、ウミガメの連凧や井田小学校の児童が作った凧、町青少年育成市民会議による「凧づくり教室」で作った凧など、それぞれが用意した色とりどりの凧が大空を泳ぎ、見物人を楽しませました。



04

Town topics

1/25



子どもとの関わり方について話す太田さん

Town topics

2/1

町教育委員会が、教育講演会を開催

子どもは人の輪の中で育つ

町教育委員会は2月1日、まなびの郷で、三重こどもわかもの育成財団の太田米子理事長を講師に迎え、「学びと育ちの環境づくり」をテーマに、教育講演会を開催しました。

太田さんは、自身の仕事を通じて子どもと関わった時の体験や、同財団の活動内容、「みえの子ども白書」から三重県の子どもの生活や気持ちの現状などを紹介しました。また、自らその作成に携わった「三重県子ども条例」前文にこめられた思いや考え方について、「子どもは、家庭や学校をはじめとする地域社会での経験を通して、人とのさまざまな関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や、自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる」と話し、大人同士が仲良くおらかな姿を見せる中でつながり、連携・協働していくことの大切さを訴えました。

Town topics

2/3



02

01. ブロック塀や溝ふたなど、危険な箇所をチェックする先生たち。02. 各班に分かれて防災マップを作成しました。03. 講師の川口准教授。



01

第3回学校防災研修会

防災教育に生かすため危険箇所を確認!!

町教育委員会が主催する「第3回学校防災研修会」が2月3日、鵜殿小学校で開催されました。町内の小中学校・幼稚園の教職員約40人が参加し、日ごろの学校での防災教育に生かそうとタウンウォッチングや防災マップの作成方法を学びました。

第1回から講師を務める、町の学校防災アドバイザーで三重大学大学院工学研究科・自然対策室の川口淳准教授は、「自分で考えさせることを重視し、継続した取り組みが大切。防災には正解はないが、やったことは必ず積み上がることを教えてほしい」と防災教育での重要なポイントを示しました。

このあと、参加者は6班に分かれ、同校の通学路を町の防災マップとカメラを持って実際に歩き、震度6の地震が発生した場合を想像しながらブロック塀や溝ふたなど危険な箇所をチェックしました。学校に戻ると、危険箇所や公衆電話、商店など災害時に役立つ場所を地図に色分けして書き込んでいき、防災マップを作成し、班ごとに成果を発表し合いました。



03

プロ野球への夢を胸に、全国レベルを体感

久保くんが阪神ジュニアに選出!!

成川小学校6年の久保亮弥くんが、昨年末に札幌ドームで開催された「NPB 12球団ジュニアトーナメント」に阪神タイガースのジュニアメンバーとして出場し、活躍しました。

同トーナメントは、社団法人日本野球機構とプロ野球12球団が連携し、「子どもたちがプロ野球への夢という目標をより身近に持てるように」と企画されたものです。

成川スポーツ少年団で小学2年生から野球を始めた久保くんは、昨年の夏、阪神タイガースのジュニアチーム選考会に参加し、3次選考を突破して、500人以上の中から18人のメンバーに見事選ばれました。

札幌ドームの大会では、中日ドラゴンズジュニア、読売ジャイアンツジュニアと予選リーグを戦い、中日戦では七回裏に二塁の守備、巨人戦では先発出場し二塁を守り、打撃では二回に同点打を放つなど、1盗塁1打点の活躍を見せました。惜しくも破れ、予選敗退となってしまいましたが、全国レベルのプレーを体験しました。

今後の目標について久保くんは、「プロになってもう一度札幌ドームで試合したい」と目を輝かせていました。



阪神タイガースのジュニア選手として活躍した久保くん

3 月生まれの3歳児



はな はな
富花菜ちゃん(井田)

平成23年3月14日生まれ
敏紘さん&多恵さんの長女

保育所でお友達と遊ぶのが大好きです。いつも弟にやさしくしてくれてありがとう。これからも、元気いっぱい育ててね♪
…お母さんから



つくだ りいな
塚田新菜ちゃん(神内)

平成23年3月17日生まれ
哲也さん&幸さんの長女

絵本が大好きな新菜。ごっこ遊びも得意で、役になりきって話す姿がとてもかわいいです。素直でやさしいお姉ちゃんになってね…ママより



だいこく まりな
大黒莉奈ちゃん(鶴殿)

平成23年3月23日生まれ
将也さん&真奈さんの長女

こんにちは、まりなです！歌や踊りが好きで、お家で音楽がなると踊っています。1番お兄ちゃんが大好き♡これからも、お兄ちゃんと仲良くね…お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(平成23年5・6月生まれ)を募集しています。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は3月28日(金)まで。

心の病について

山本 大さん(成川)

私が紀宝町で暮らすようになって、約1年がたちました。紀宝町で生まれ育っていたのですが、実家が熊野市に引っ越したため、大学卒業後は熊野市で生活をしていました。

と、思い、一人で紀宝町に戻ってきました。私は普段、精神に疾患を持たれた方の支援をする仕事をしています。骨折や内科的な病気などで入院された方は、治療が終わると退院するのが一般的だと思います。しかし、心の病で入院され



PROFILE

やまもと だい さん

熊野病院で勤務されている山本さん。「心の病について、少しでも知ってもらえたら、うれしいです」と話していました。



た方は、状態が落ちつき、治療の必要性がなくても、さまざまな理由で退院することが難しい方もいます。中には何年も、何十年も退院できず、入院されている方もいます。そういうことは決して珍しくありません。

「精神障がい」ってご存知ですか？近づくたくない。変わっている。などさまざまなイメージを持たれているかもしれません。もちろんそうでない方もいらっしゃると思います。でも、そう思われるひとつの理由として、「あまり知らない」ということがあるのではないのでしょうか。私は精神疾患を持たれている方と接するまで、漠然としていて、よくわからなかったです。でも、初めて接した時、私と同じように、一緒に話をし、笑っていました。ただ、違いは病気を持たれているという点だけでした。

精神疾患は病気であり、その人ではありません。「知る」ことで、何かが変わることもあると思います。紀宝町内でも講演会や研修会などが開かれていますし、私も身も退院の支援をしています。そして、心の病について少しでも知っていただける機会を作れたらいいなあと思っています。

今回このお話をいただいたので、何を書こうか迷い、結局小難しい話になってしまいましたね(汗)。お堅いと思つた方もいらっしゃるかと思いますが、楽しいことや、イベントなども大好きです。今後、祭りや行事にも参加して大好きな紀宝町を盛り上げるお手伝いをしたいなと思います。

4月号は成川の向井彰さんです。山本さんからは、「お互いそろそろ結婚しないかね。まあ、また近いうちに飲みに行きましょつ」

立派な職人になりたい!!

久保利 拓哉 さん(鶴殿・24歳)

◆お仕事は？

森浦鉄工所で勤務しています。主に、クリーンセンターのコンベアとかを製作しています。メンテナンスもするので、全国のいたるところに行つて、作業することもあります。まだ5年目なので、先輩方のやり方を見ながら、毎日勉強の日々です。将来は、みんなから憧れられるような職人になりたいです。

◆旅に行くとしたら

オーロラが見えるところに行きたいです。フィンランドやカナダとか。神秘的な現象を自分の目で見てみたいです。

◆趣味は？

音楽や映画鑑賞です。他には、バスフィッシングもします。

◆理想のタイプは？

一緒にいて、楽しめる人が理想です。あと、年上の女性がいいですね。

◆今、熱中していること

今は仕事ですね。まだ修行の身なので、今は仕事をがんばりたいです。そして、いつかは立派な職人になりたいです。

◆町の好きなところは？

地元は、自然も豊かだし、ゆったりとして落ち着けるところが好きです。





3月号

町の人口 - population -

平成26年1月末現在(前月比)	
人口	11,793 (±0)
男	5,547 (+1)
女	6,246 (-1)
世帯	5,398 (+3)
	(外国人を含む)

主な電話番号 - telephone -

役場 総務課	(33) 0333
役場 企画調整課	(33) 0334
役場 総務課(防災対策)	(33) 0335
役場 産業建設課	(33) 0336
役場 税務住民課	(33) 0337
役場 環境衛生課	(33) 0338
役場 福祉課	(33) 0339
役場 出納室	(33) 0340
教育委員会	(33) 0341
議会事務局	(33) 0342
役場 環境衛生課(水道)	(33) 0343
地域包括支援センター	(33) 0175
保健センター	(32) 3700
相野谷診療所	(34) 0011
鶴殿図書館	(32) 4646
まなびの郷	(32) 0241
神内福祉センター	(32) 2023
鶴殿福祉センター	(32) 0957
子育て支援センター	(32) 4388
熊野自殺防止センター	05979-2-2277
	【毎週金・土曜日 午後7時から11時まで】
防災行政無線(フリーダイヤル)	0120-334-119
おかけ間違いのないように!	



今月のワンコ

ナナ

紀宝町文化協会 会員募集中

町文化協会は、3月3日(月)から、平成26年度の会員を募集します。

当協会では、芸能発表会、文化講演会、研修旅行などを計画しています。継続の方も、新たにお申し込みください。年会費は大人500円、高校生以下250円です。▼詳しくは、まなびの郷(☎32-0241)までお問い合わせください。

第2回芸能フェスティバル開催

町文化協会は、芸能フェスティバルを開催します。音楽や舞踊など芸能を愛する

る方々の日頃の練習の成果をご披露していただきます。ぜひ、ご来場ください。

【日時】 3月2日(日)、午後1時開演(午後0時30分開場)

【場所】 まなびの郷

▼詳しくは、まなびの郷(☎32-0241)まで、お問い合わせください。

人権講演会を開催

熊野人権啓発活動地域ネットワーク協議会では、「生きる限り、大きな花を咲かせたい」を演題とし、女優の正司花江さんをお迎えして人権講演会を開催します。ぜひご来場ください。

【日時】 3月12日(水)、午後6時30分開演(6時開場)



正司花江さん

【場所】 まなびの郷

【講師】 正司花江さん

【料金】 無料(整理券が必要です。整理券は、まなびの郷で配布しています)

▼詳しくは、まなびの郷(☎32-0241)までお問い合わせください。

木本高等学校定時制科目履修生募集

木本高等学校では、パソコンを扱う「社会と情報(初心者向け)・「情報処理(ワー

ド・エクセル・ポスター制作等)、「美術」、「書道」の定時制の授業を生徒とともに受講する「定時制科目履修生」を募集します。1科目からでも受講できます。生涯学習の場としてご利用ください。

【受付期間】 3月3日(月)から3月27日(木)まで

【受講料】 1単位あたり、年間1,700円

▼詳しくは、木本高等学校定時制(☎0597-85-3811)までお問い合わせください。

テント、発電機を購入しました

紀宝町自主防災組織連絡協議会では、平成25年度コミュニティ助成事業を受けて、テント4張、LPガス発電機5

台を購入しました。

今後は、購入した備品を自主防災活動で有効に活用し、防災訓練などを通じて、防災力向上に努めていきます。



LPガス発電機



テント

消防署からのお知らせ 春の全国火災予防運動

3月1日から7日までの7日間にわたり、「消すまでは心の警報 ONのまま」をスローガンに、春の全国火災予防運動が実施されます。私たちの大切な命、財産を失わないために防火意識を高めましょう。

住宅用火災警報器の設置は「義務」です

現在、熊野市消防本部管内の住宅用火災警報器の設置率は、三重県下の平均設置率に比べ、たいへん低い状況です。

住宅火災で亡くなった方のうち、約6割は「逃げ遅れ」が原因で命を落としています。火事により大切な家族や財産を失って、「早く設置しておけばよかった」と後悔しないよう、住宅用火災警報器の設置を一日も早くお願いします。

火事が起きてからでは遅いのです。設置して、助かる命があります。

住宅用火災警報器の設置場所

- すべての寝室
- 階段(寝室が2階以上にある場合)

住宅用火災警報器の利点

- 早い段階で火事を発見できる
 - 早い段階で消火や避難ができる
 - 早い段階で消防署へ通報できる
 - 隣近所に発見してもらいやすい
- ▼詳しくは、熊野市消防本部(☎0597-89-0994)までお問い合わせください。

まどぐち国民年金

過去2年間に国民年金保険料の未納期間がある方へ

国民年金は、所得が少ないときや失業等により保険料を納付することが経済的に困難な場合、保険料の免除(※)を申請することができます。

これまで、過去分の国民年金保険料の免除が受けられる期間は、申請日の直前の7月(学生納付特例は直前の4月)までの1年以内でしたが、平成26年4月からは、申請時点の2年1か月前の月分まで申請できるようになります。

ただし、保険料の免除申請については、申請期間に対応する前年所得に基づき、審査がされますので、免除申請が承認されない場合があります。

(※)「保険料の免除」には、申請者の年齢所得に応じて、全額免除、一部免除(3/4、半額、1/4)、若年者納付猶予、学生納付特例があります。▼詳しくは、役場税務住民課

国税専門官採用試験の受験者を募集

国税庁では、大卒程度の方向けに「国税専門官採用試験」の受験者を募集します。応募はインターネット申し込みか郵送にて受け付けます。▼受験資格や申込方法など詳しくは、国税庁HP (<http://www.nta.go.jp/nagoya>) をご覧いただくか、名古屋国税局総務部人事第二課試験係(☎052-951-3511)までお問い合わせください。

今月(3月)の「紀の宝みなと市」

【日時】 3月15日(日) 午前9時から12時まで

【場所】 鶴殿港

【ふるまい】 わた菓子作り

▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

紀宝町下水道サービス株式会社



浄化槽のご相談は
フリーダイヤル
0120-620-690

紀宝町鶴殿1375番地1
TEL: 0735-33-0360 (代)
FAX: 0735-33-0365
HP: <http://www.pfi-kiho.jp/>

宅配センター クイックサービス ☎32-2989

紀宝バイパス沿いに **移転** しました

相続・贈与等の不動産登記や会社等の商業登記に関することについて、**お気軽にお電話ください。**

司法書士 庄司 純史

事務所 熊野市井戸町802-12
TEL 0597-85-4568
自宅 紀宝町井田上野2140
携帯 090-3389-1330

今昔物語

写真で振り返る

(題字：峯尾平氏)

その9

鮎田橋 (ふなだばし)

鮎田水門付近



昭和初期

(写真提供：的場敏敦氏)



現在

前回に引き続き、鮎田地区の「鮎田橋」の写真を紹介します。的場敏敦さん(成川)からご提供いただきました。

この写真は、昭和初期のもので、鮎田橋は現在の鮎田水門と鮎田水管橋の間あたりにありました。木製で、とても雰囲気があり、地域住民には相野谷川を渡るために欠かせない橋でしたが、昭和28年9月に発生した台風13号の影響で流されてしまいました。

おそらくこの写真は、牛鼻神社付近の高台から撮られたものだと思います。写真を見てわかるように、この時代の相野谷川の川幅は、現在と比べるととても狭くなっています。また、川の上流に製材所があることから、エンジンのついた船で木材を上流に運んでおり、その木材の上には人が4人乗っています。この付近は、水害に何度もあってきたためか、橋の出入り口付近には、水位を測る量水標が2本も建てられています。

— 昔の風景写真を募集します —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。

本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限り、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課広報係(☎33-0334)までお問い合わせください。

むらむら

どちらにしようかな?

みなさんは幼いころ、何かの選択を迫られたときに、「どちらにしようかな」と数え歌を歌いませんでしたか。この数え歌、最近の子どもたちも歌っているんです。驚きだったので、ちょっと調べてみることにしました。

この数え歌は、歌詞の一章ごとに交互、あるいは順番に指差し、最後の一言の時に指を指している方に決定するというもので、全国的に歌われているようです。一般的には、「どちらにしようかな、天の神様の言とおお」という言葉が始まり、この後に続く言葉は地域によってさまざまです。

そこで、紀玉町では、どの歌が調べてみるよ、町内でよく言われている歌詞は、「どちらにしようかな、天の神様の言とおお、鉄砲撃つて123、大砲撃つて123、柿の種」と答えた人が多かったです。

そんななか、「天の神様」を「裏の神様」と言ったり、「言とおお」を「聞いたらよくわかる」と言ったり、町内でも年代や地域によってさまざまでした。なかでも珍しいと感じたものに、成川に住む40代男性は「裏の神様」のころを、「裏の権現山」と歌っていたそうです。また、鉄砲を撃つ前に、「ぶつとして、ぶつとして、ぶつ、ぶつ」という言葉が入るのだとか。また、今の小学生はというと、鶴殿小1年の女の子は、大砲を撃つところまでは同じなんです。それから、「桃の種、柿の種、臭い薔薇」と言っているようです。しかし、なぜ「臭い」?

この数え歌が歌われるようになった時期や理由、歌詞の意味もよくわかりませんが、72歳の僕の父親も、歌詞は覚えてなかったですが、昔に歌っていたそうです。

みなさんは幼いころ、どの歌に歌っていましたか。ちなみに僕は、「天」でも「裏」でもなく、「村の神様」と歌っていました。鶴殿村出身だからですかね?

(優柔不断な僕は、だいたい神頼み 竹鼻 康)

